

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
AM33Z013		導入 (音楽) (Introduction (Music))					導入教育科目 文化・国際	対面									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	1	1	医学部医学科	後期	水4	氏名 小川 伊作 (非) E-mail i-ogawa@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	現代において、「音楽」は我々の生活の中で必須のものになっている。しかし「音楽」とは単純なものではなく、むしろ驚くほど多様で、深いものといえる。本講義ではこのように我々の生活と密接に関係を持ちながら、その実態を意識することの少ない「音楽」について、西洋音楽とその影響下に生まれた音楽の歴史をたどりながら様々な様態に触れ、あらためて「音楽」について考察する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	ともすれば娯楽として、感覚的な受容で満足してしまいがちな「音楽」に対し、歴史的な視点から音楽の多様性を説明できる。																
目標2	「音楽」という語のそもそもの成り立ちを説明できる																
目標3	西洋クラシック音楽だけではなく、ジャズ、フォークソングに触れることで、より広範でフラットな視点から音楽を説明できる。																
目標4	本学が大分県に立地していることにかんがみ、大分ゆかりの音楽家にも理解を深め、説明できる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 オリエンテーション:「音楽」とは何か?その意味、由来、語源について																	
2 西洋音楽の起源:古代ギリシアと中世の音楽																	
3 折りの音楽 中世ルネサンス音楽																	
4 音の建築物 バロック音楽																	
5 音で思想を表現する 古典派音楽 モーツァルトの音楽																	
6 音で思想を表現する その2 過度期の音楽 ベートーヴェンの音楽																	
7 音で物語を表現する ロマン派音楽 標題交響曲と交響詩																	
8 音で物語を表現する ロマン派音楽 その2 歌曲とオペラ																	
9 行き着くところまで行ってしまった 現代音楽																	
10 20世紀の音楽:ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その1 ジャズの誕生と発展 ニューオリンズからスイングまで																	
11 20世紀の音楽:ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その2 パップからポスト・フリーまで																	
12 20世紀の音楽:ジャズ 文化の混交 アメリカの産んだ20世紀最大の芸術音楽 その3 日本へのジャズの伝播とジャズの影響を受けたクラシック音楽																	
13 20世紀の音楽:フォークソング 若者の気持ちを代弁 その1 アメリカン・フォークソング																	
14 20世紀の音楽:フォークソング 若者の気持ちを代弁 その2 日本のフォークソングの誕生と変遷																	
15 日本の音楽:大友宗麟時代の南蛮音楽/日本近代の音楽の生みの親「瀧廉太郎再発見」																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	意識しているいろいろな音楽に接してみる。すでにクラシックを体験済みの学生は、クラシック以外の音楽を聴いてみる。ポップス系を聴いている学生は、少し我慢してクラシック音楽を聴いてみる。					工夫	その他の	BGM的(ながら)聴取は不可。聴く際にメモを取る用意をしておくとなおよい。								
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	配布されたプリントを予習しておく(5h)。															
	事後学修	授業の復習と、レポートに備え各種音楽の意識的聴取を心がける(20h)。															
教科書	特になし。講義時にプリントを配布する。																
参考書	随時指示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	アクティブラーニングレポート(800字程度)	30%															
	期末レポート(1200字以上)	70%															
注意事項	毎回音楽を多く聴くので休まないこと。また講義中の私語、内職等は禁止する。アクティブラーニングレポートは12月、期末レポートは後期授業時間最終日を締め切りとするので提出を遅れないように。いずれもメールで提出。																
備考	特になし。																
リンク	URL																